



今号では、＜大学オープンキャンパス情報＞と、＜コロナ禍の大学生活＞について掲載します。

### ◆国公立大オープンキャンパス情報

大学	月日	対面	Web	備考
北海道大	9/19, 20			形式未定
北海道教育大	9/25, 26		○	函館校
北海道教育大	7/31		○	札幌校
岩手大	8/2～2/28		○	
東北大	7/28, 29	○	○	Webは期日未定
秋田大	期日未定		○	
山形大	(対)7/17, 22, 23、(W) 8/21			小白川
山形大	(対)8/21、(W) 7/17			農学部
山形大	(対)9/4、(W) 8/6			工学部
福島大	人7/23、行・経7/24、共・食7/25 (対面)			
筑波大	期日未定		○	
宇都宮大	期日未定		○	
埼玉大	期日未定		○	
お茶の水女子大	7/10, 11		○	
電気通信大	7/18		○	
東京大	7/10, 11		○	
東京外国語大	7/31, 8/1		○	予約7/11～
東京学芸大	7月上旬公開		○	
一橋大	8/8		○	
東京農工大	8/11, 12	○	○	
横浜国立大	7/12～15, 8/9		○	教育のみ
新潟大	8/9～16		○	
岩手県立大	準備中		○	
秋田県立大	準備中		○	
国際教養大	7/18, 9/19		○	
山形県立保医大	準備中		○	
会津大	8/8, 10/9, 10			形式未定
福島県立医大	保健科学7/4	○		他はWEB
埼玉県立大	8/7, 8	○		要予約
東京都立大	準備中		○	

※6/30現在の情報です。

今年度も多くの大学がオンラインによるオープンキャンパスの実施になりました。やはり感染症対策をしながら多くの人を自由に歩かせるのには無理があるようです。

また、対面で実施する場合でも、予約制であることはもちろんのこと、人数はかなり制限されているようです。大学の雰囲気味わうということにはならないでしょう。それでも大学へ足を運び、図書館や学生協、その他の施設を見学することには意味があると思います。チャンスがあれば予約をして、参加してください。

また、この表に出ている情報は、ほんの一部に過ぎません。Webで各大学のオープンキャンパス情報をよく確認してください。大学によっては、すでに予約が始まっていますので注意してください。

オープンキャンパスに行かなくても、各業者主催の大学説明会も催されています。コラッセ福島やアオウゼなど分かりやすいところで実施されていますので、顔を出してみるのも良いと思います。教室に貼ってある情報にも目を向けてください。



### ◆テーマ「コロナ禍の大学生活」～教育実習生座談会～ 実施日時:6/21(月)16:30～

教育実習生の4人に「コロナ禍の大学生活」と題して、現状を聞く座談会を実施しました。現役大学生の生の声ですので、これからの高校生活や大学選びの参考にしてください。

参加者 ○大島 実習生<進行>

○渡邊 実習生

○小池 実習生

○野村 実習生

※平澤 貞博(進路指導部) <記録・サポート>

大島:最初のテーマですが、コロナ前後で授業や大学の対応はどう変わりましたか?

渡邊:昨年は基本全面的にオンラインでした。先生がアップロードしたものや資料を見てレポートを提出する。今年については、下級生は対面とオンラインが半々くらいでやっているようです。ゼミは対面です。学食は座席数を制限、図書館は予約制の時期もあり、勉強では利用しにくい状況でした。

大島:去年の前期はすべてオンラインで、後期からは下級生を中心に対面が増えていきました。部活動の演劇部では、ほぼ1年間活動停止でした。学食は、特別にお弁当の限定販売の時期がありました。

野村:昨年は、ほぼ全部オンライン授業でした。模擬授業とか対面でしかできない授業だけは対面でした。今も人数が多い授業はオンラインです。最近では、下級生は結構対面になってきたようです。図書館や学食については、前の二人とあまり変わりません。部活動のダンスサークルは未だに活動できていません。

小池：東京は感染者が多いので、**去年はすべてオンラインでした。前期はオンデマンド式で、いつでも資料を締め切り日までに見て、レポートを出せば単位が取れる形式、後期はズームでの講義でした。**学食、図書館は閉鎖されていた時期もありましたが、今は消毒を徹底して開けています。**部活動は、(午前午後に分けるなど)人数を減らして活動しているようです。**

平澤：コロナ前の対面とコロナ後のリモートでは、どちらがよいですか？

大島：個人的にはオンラインになったおかげで、ずっと家にいるので、大学との往復の手間や時間が省けて、その分、意外と勉強に充てられるので**割とオンラインは好きでした。ただ、首とか目が痛くて大変でした。**

渡邊：**単位は取りやすくなりました。**教授も初めてなので、オンラインのテストだったりしたので甘くなったり、レポート提出になったりしました。

大島：**前期はほぼレポートでした。**

野村：**オンラインは好きな方です。**本来 90 分ある授業が短くなり、授業の質は担保できているのかが心配です。

小池：**家の Wi-Fi が不安定なのと、キーボードが苦手なので、結構大変でした。**大学に行かなくても良いという面では嫌いではないですけど、**対面の方が頭に入りますね。**

野村：**孤独で辛い。**課題も一人でやるよりも複数人でやる方が効率良いのに出来ませんでした。

大島：**「勉強している」というよりは、「ただタスクをこなしている」という感じになる。**

平澤：家でのオンライン環境はどうなっていますか？

全員：**パソコンと Wi-Fi は必須です。**

大島：**次のテーマは、勉強以外の部分(アルバイト、友達付き合い、食生活など)については、みなさんどう変わりましたか？**

渡邊：**食生活は良くなりました。**料理に目覚めた時期もあり、うどんを打ったりしていました。

全員：えー。それは、コロナとか関係ないんじゃないの？

渡邊：時間ができたから、趣味的に作ったのかも。

野村：コロナになって始めの半年くらいは実家にいたので、**規則正しい人間らしい生活でした。(それまでは違ったのか・・・)**

平澤：**その間の家賃は？**

野村：**払っぱなし。(もったいない)**

大島：私も 3 か月ほど帰っていました。周りの人も実家に帰っている人は多かったです。アルバイトが無くなったからということも理由です。ところで、みなさんアルバイトは？

渡邊：イベントの日雇いアルバイトをやっていて、**コロナでイベントがほとんどなくなりました。**コロナが落ち着いてきて新たにイベントが始まると、今度は**コロナ対策のアルバイト(消毒や検温など)が増えました。**

小池：以前やっていた飲食店がコロナで閉店したので、今は保育園でやっています。保育園でもやっぱり消毒とかの仕事です。

野村：パン屋さんだったので、みんなよりは被害は少なかったと思います。もう一つ学童でやっています。ブロック 1 個 1 個消毒とか大変です。

大島：私は大型飲食チェーン店でしたが、シフトも少なくなって**収入がかなり少なくなり、趣味に使う分は稼げなくなっていました。結局、飲食店は安定しないけど、別なバイトが発生してくるので、探せば見つかる、**ということですね。次に人とかかわりについてどうですか？

野村：ある後輩で、友達も 2 人くらいしかなくて、課題もいっしょに考えてくれる人がいなくて苦しかったそうです。

小池：**友達と会えないのが寂しいです。**

大島：この間、高校時代の友達とオンラインゲームをやりました。結局、高校時代の友達が長く付き合っている。

全員：わかる～。

大島：**高校時代の付き合いは、大学に来たら消えるかと思ったら、意外と細々と続いている。**

平澤：**人付き合いにもオンラインが活躍したということですかね。**

全員：そんな感じです。

大島：**最後に、橋校生に向けてのひと言をお願いします。**

**高校の友人は、本当に頼れる仲間になります。オンラインの時代になったことで、なおさらです。また、大学選びは偏差値で選ぶのも一つの選択肢ですが、自分の欲望に従って、今何がやりたいのか、どこに行きたいのかで選んでも良いと思います。**

渡邊：同じく高校の友達は大事です。今でも、高校時代の卓球部で集まって BBQ をやっています(去年はコロナで出来ませんでした)。部活で出来た先輩後輩も大切です。先輩にはいろいろ聞きやすいので、困ったときに相談しています。

野村：打ち込めること(高校時代のダンス)があったので、今の大学生活がある。だから、**何か自分が打ち込めることを見つけることが大切だ**と思います。また、私の大学は人間愛を大切にしている、それがオープンキャンパスで先輩たちと触れ合ってたので、**大学を選ぶときに、偏差値とか、やりたいこととか以外にも、大学の雰囲気とかも大切なこと**と思います。

小池：**大学はどこに入るかではなくて、そこに入って何をやるのが大事だ**と思っています。大学って自分次第でいろいろできます。だから入ってからが勝負だと思います。そして、高校時代が一番エネルギーです。**勉強以外でも、これは私なら誰にも負けないという武器**を見つけてほしいと思います。

平澤：今日は貴重なお話ありがとうございました。高校生が聞きたい内容がたくさん入っていたと思います。実習期間中にも多くの高校生に様々な話を聞かせてください。

